



新島・式根島
認定ブランド

/NEWS/

Niijima & Shikine Brand



東京から約 160km 南の太平洋上に浮かぶ、
新島と式根島という 2 つの島。
独特の歴史と風土に育まれた魅力的な商品を
特産品として PR していく

「新島・式根島 認定ブランド」では
今年も素敵な商品が新たに登録されました。



New Comer Interview

2024年で12年目を迎えた新島・式根島認定ブランド。
登録商品は島の特産品として定着するだけでなく、
なかには東京諸島を代表するヒット商品として
人気を呼ぶものも出ています。
今年は新たに2組・4商品の登録が決定！
島内外に多くのファンを持つ事業者さんが
新たに手がけた商品への思いとは？
じっくりお話をうかがいました。



photo : NUMA FILMS

パン工房
帆風
(パンプー)

藤井 悠子さん



くりいも

式根島産あめりか芋の舌ざわりや甘みにこだわった、
なめらかな芋クリーム。そのまま使えるパック入りで、
パンに塗ったりアイスにのせたりアレンジ自由自在。

あめりか芋は可能性を秘めた食材。真剣に向き合っていきたい

濃厚な香りと風味が楽しめるリッチなケーキとして、今では伊豆諸島を代表する菓子のひとつとして高い人気を誇る、パン工房帆風のあめりか芋パウンドケーキ(認定ブランド登録済)。そのパウンドケーキの素材として作っていた芋のペーストを進化させたのが、今回新たにブランド認定された「くりいも」です。芋のペーストはねっとりした食感が特徴ですが、くりいもは独自の製法でもったり感を極限までなくし、舌ざわりのいいクリーミーな仕上がりになっています。

「あめりか芋は原種に近いので、繊維がすごく多いんですよ。単にマッシュしただけでは繊維が残るし、苦みも出てしまいます。そこで何度も何度も裏ごしして、なめらかにしていたんですが、その作業がとにかく大変で。これ以上パウンドケーキの注文が増えると作業が追いつかなくなると思い、効率よく芋のペーストを作れないだろうか？と考えたのがきっかけです」

そう話すのは、帆風の藤井悠子さん。全国の加工業者を調べて、あめりか芋の繊維を処理してくれる業者を見つけ出したそうですが、できあがったペーストのおいさに驚き「これを商品にしたら喜ばれるんじゃないか」と思ったことから「くりいも」を発案。舌ざわりや上品な甘さはもちろん、そのまま使えるパック型を採用し、使いやすさにもこだわりました。

お子さんの進学の関係で、現在は島を離れ内地で生活している藤井さん。パンづくりは3年間お休みですが、離島中は勉強の時間と捉え、パン工房で働きつつ農業研修や加工技術の研修も受けているそう。

「全国的に芋市場は拡大していて、品種改良も加工品の開発も進んでいます。あめりか芋は希少価値があり、加工方法によってもっともっと甘さも香りも出せると思います。3年後の帰島に向けて、私も技術を磨いていきたいです」

あめりか芋ジャム

新島産のあめりか芋と紅玉りんごを合わせ、
スッキリとした甘さに仕上げたジャム。



あしたば味噌 島唐辛子味噌

明日葉は栄養価が高い茎だけを使用し、唐辛子は夏に収穫した風味のよい青唐辛子を採用。こだわりの国産無添加味噌とブレンドし、お土産として人気上昇中。

A-FARM
天野 律子さん



photo : chiaki kaneko

食は旅の一部。食べ物を通じて島を好きになってもらえたら

明日葉やあめりか芋などの特産野菜をはじめ、素材にこだわった加工品も人気のA-FARM。全商品を手がける天野律子さんは、2003年に新島へ移住し、2014年に明日葉農家として活動を始めました。「島でおいしい野菜を育てたい」という熱い思いで農作業に励む一方、「大切に育てたのに規格外で出荷できない明日葉を活かせないか」という思いから商品開発に着手。明日葉を使った食パンやスコーンに始まり、2017年には明日葉フィナンシェ（認定ブランド登録済）を発売。さらに2018年に「あめりか芋ジャム」、2019年冬に「あしたば味噌」と「島唐辛子味噌」を発売し、このたび3商品が新たに認定ブランドに登録されました。

設備投資を行って安定生産できる環境を整え、さあ販売に力を入れようとしたところでコロナ禍に突入。旅行客は途絶え、物産展などのイベントも中止となり、苦しい時期が続いたと言いますが、「逆に商品

と向き合うチャンスと捉えて」加工品の見直しを行うことに。チャレンジ農業支援センターのサポートを受け、どんな形態ならお土産として買やすいか、どんな人に喜んでもらいたいのか、デザイナーと何度も話し合いながら商品の一つ一つ検討したといいます。あしたば味噌と島唐辛子味噌は瓶詰からパウチに、あめりか芋ジャムは高級感あるシックなパッケージに変更。大胆なイメージチェンジはさまざまな反応があると言いますが「統一感が出てメッセージは伝わりやすくなったと思います」と天野さん。

今では菓子からお茶、調味料、麺に至るまで、充実したラインナップが並ぶA-FARM。「島で食べたあの料理がおいしかった、というのも旅の思い出のひとつ。訪れた人に商品を通して少しでも新島野菜に興味を持ってもらえたらと語る天野さんの挑戦はまだまだ続きそうです。

認定商品の全てがわかる！

新島・式根島認定ブランド情報ページ

「新島・式根島認定ブランド」は2013年のスタートから12年目を迎え、これまでに53点が登録されました。新島村商工会ではウェブサイトのリニューアルし、現在島内外で入手できる商品を一同に集めた特設ページを用意しました。商品情報はもちろん、購入できるショップの情報もあります。ぜひご覧ください。



Information

「新島・式根島認定ブランド」は新島・式根島で生産・製造・加工・創造された商品やサービスのうち、島の特性を活かして作られたものをブランド商品として認定し、PR・販路拡大を目指す新島村商工会の事業です。商品や登録に関するお問い合わせは、商工会まで。

新島村商工会 〒100-0402 東京都新島村本村 5-1-15
TEL 04992-5-1167 MAIL n-shokokai@nijijima.or.jp
WEB <https://nijijima.or.jp/shokokai/>

新商品、募集！

新島・式根島認定ブランドでは、年に一度（7月頃）、新規登録の審査会を行っています。くわしくは商工会まで。ご応募、お待ちしております！

2024年11月1日発行 発行元：新島村商工会
編集：（一社）新島OIGIE デザイン：サノアッコ
イラスト：小澤美鈴